

群馬の畜産 みんなの情報室

第325号

発行日
平成27年6月30日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 6階/TEL:027-220-2371(代) FAX:027-220-2372
ホームページ: <http://www.chikusankyokai.or.jp>

第72回定時総会が開催されました



(巻頭写真) 定時総会・大澤会長のあいさつ

平成27年6月25日(木)群馬県JAビルにおいて、本会の第72回定時総会が開催されました。

総会では会員各位のご出席のもと、次の報告事項ならびに議案が報告、協議され、すべての議案が原案どおり可決決定されました。

(報告事項) 平成26年度業務報告

(決議事項)

第1号議案 平成26年度貸借対照表、正味財産増減計算書承認の件

第2号議案 平成27年度会費並びに納入時期の件

第3号議案 平成27年度役員報酬決定の件

第4号議案 理事選任の件

理事会の開催

定時総会に先立ち、平成27年6月8日(月)群馬県JAビルにおいて本会理事会が開催され、平成26年度業務報告等について協議されました。

決議事項、報告事項は次のとおりです。

(決議事項)

第1号議案 第72回定時総会の招集について

第2号議案 第72回定時総会に提出する議題について

第3号議案 平成26年度業務報告、計算書類等の承認について

第4号議案 規定の変更について

(報告事項) 職務執行状況報告など

目次

◎(巻頭)定時総会の開催	1	◎畜産振興部より	5
◎(巻頭)理事会の開催	1	◎業務部より	6
◎新専務理事就任挨拶	2	◎企画管理部より	7
◎新役員の就任	2	◎新入職員紹介	7
◎平成26年度事業実績	3	◎南関東4競馬場・開催日程	8

ご挨拶

公益社団法人 群馬県畜産協会 専務理事 糸井 浩



去る、6月25日に開催されました第72回定時総会及び理事会におきまして、専務理事に選定されました糸井でございます。よろしくお願いいたします。

最近の畜産の状況をみますと、円安の進展や穀物需要の拡大に伴う配合飼料価格は高止まりの状況にあり、少子高齢化に伴う国内需要の減少やTPPなど、先行き不透明な事項が多いこと、及び経営者自身の高齢化などで廃業する畜産農家も多くなっています。特に酪農では、飼養戸数の減少だけでなく生乳生産量の減少も顕著で、生産基盤の脆弱化が懸念されています。このような状況の中ではありますが、肉用牛の枝肉価格や豚枝肉価格、鶏卵価格など、多くの畜産物価格が比較的堅調に推移しており、畜産経営にとっては追い風も感じられる今日この頃です。

しかしながら、国内ではPED（豚流行性下痢）が大流行し、群馬県でも昨年4月の初発生以降、子豚の死亡が4万頭を超えてしまいました。また、

韓国をはじめとする東南アジア各国では、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫が蔓延していることから、海外の伝染病がいつ日本に入ってきてもおかしくない状況にあります。そのほかにも、昨年2月の大雪や今年6月の突風による大きな被害が発生するなど、災害は突然にやってきます。そのためにも、畜産関係者一丸となつての常日頃からの防疫や災害に対する対応が重要と考えております。

このように多くの課題を抱えている本県の畜産業ではありますが、皆様の努力によりまして、本県の畜産生産額は平成25年で947億円と全国第9位にあり、群馬県の農業産出額全体の41%を占めるなど、本県の農業の大きな柱として確固とした地位を築いております。東日本大震災後の原発事故から4年が経過し、県内産の農畜産物への風評被害も少なくなってきました。また、EU（ヨーロッパ連合）への牛肉の輸出が解禁されたことから、東日本で唯一のEUへの輸出認定施設を持つ群馬県から、海外への牛肉の輸出が大きく伸びてきています。

これからも、皆様のご協力を仰ぎながら、群馬県の畜産業が活気を持って続けられ、安全・安心な畜産物が生産できるよう、畜産協会としてしっかり取り組むとともに、関係機関や生産者の方々の意見にも広く耳を傾け、連携を深めることにより、今まで以上に頼られる協会となれるよう努めてまいりますので、関係各位の一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたしまして、新任のあいさつといたします。

新役員の就任

公益社団法人群馬県畜産協会 役員名簿（新役員）

平成27年6月25日（木）に開催された定時総会および理事会において、新役員が選定選任されました。

新役員体制のもと、今後とも群馬の畜産の振興に向け、各種の課題に積極的に取り組んでいく所存ですので、引き続き本会業務へのご理解ご協力のほどをよろしくお願い致します。

役職名	氏名	推薦団体
副会長	浦部 正義	群馬県農業協同組合中央会
理事	大澤 孝志	群馬県農業協同組合中央会
理事	境野 修一	株式会社群馬県食肉卸売市場
理事	金子 正一	群馬県町村会
理事	都丸 高志	群馬県養鶏協会
専務理事	糸井 浩	公益社団法人群馬県畜産協会

平成26年度事業実績

1. 概要

平成26年度においては、公益目的事業63事業、収益等事業18事業、合計81事業を実施しました。

公益目的事業のうち「畜産経営の安定を図る事業」においては、特に購入飼料費及び導入費の上昇の影響を受けた肉用牛肥育経営に対して、肉用牛肥育経営安定特別対策事業の補てんが交雑種を中心に行われ、その事務を行いました。肉用子牛、肉豚においては、販売価格の上昇等により基金の発動は行われませんでした。「畜産経営の向上を図る事業」においては、経営実績に基づく改善情報の提供や調査を継続的に行ったほか、畜産ABL（動産担保融資）等の新しい資金調達の可能性について検討を行いました。また、関係機関との連携のもと、畜産経営の第三者継承を実現させました。「家畜および畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業」では、予防衛生を促進するためのワクチン接種、オーエスキー病清浄化、BSE対策としての死亡牛処理円滑化等の事業を前年度に引き続いて実施するとともに、農場HACCPなど生産段階における安全性確保への新しい取り組みに対して支援を行いました。また、畜産への消費者の理解を促進するために、牧場体験やイベントにおける広報活動を実施しました。さらに、

「家畜の能力向上を促進する事業」では、優良種畜の導入や飼養頭数増加に取り組む生産者への支援のほか、平成29年に開催予定の全国和牛能力共進会への出品牛選定のための具体的な取り組みを開始しました。

収益等事業では、乳牛、和牛、豚、山羊の各家畜の血統登録を積極的に推進したほか、養豚の価格差補てん事業への参加に必要な事務を生産者から受託して行いました。また、3か年に亘って汚染牧草地の回復作業を土地利用者に委託して行った事業が完了しました。

平成26年度においては、本会が実施する肉用牛の価格差補てん関係事業への参加頭数、家畜登録・登記頭数のいずれにおいても、生産基盤の縮小によるとみられる影響が顕著になっています。畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえ、生産者の事業継続への意欲を高めるための事業、取組を活発化させる必要があります。

2. 事業の実施状況

(1) 会計区分別実施事業内訳

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公1(1)経営安定支援	6			1			1	8
公1(2)経営向上支援	7	1		6			8	22
公1(3)安全・理解	6	1		7			7	21
公1(4)能力向上	6		1	2			3	12
収1(1)家畜登録					6		1	7
収1(2)生産者事務						1		1
収1(3)団体事務						8		8
他1(1)畜産振興							2	2
合計	25	2	1	16	6	9	22	81

(2) 補助元等区分別実施事業内訳

補助元等区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	4							4
農畜産業振興機構	9			1				10
群馬県	9			1				10
地方競馬全国協会	1							1
中央団体	2	2		14				18
畜産協会			1		6	9	22	38
合計	25	2	1	16	6	9	22	81

3. おもな事業の実施内容

(1) 公益目的事業

公1(1) 畜産経営の安定を支援する事業

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業

(補助：農畜産業振興機構)

肉用肥育牛の粗収益が生産コストを下回った場合にその差額の一部を補てんする全国的な仕組みにおいて、契約生産者の肥育牛について、個体登録事務をおこなうとともに、交付基準を満たした品種等について補てん金を交付しました。補てんは通常、四半期を単位としますが、肉用牛肥育経営の困窮に対応して、前年に引き続き、毎月交付を行いました。

【補助戸数：242戸、補助頭数：21,567等】

に対する補助を実施しました。【補助組合数：11組合】

公1(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業

■死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

(補助：農林水産省)

24ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部を補助しました。【補助戸数：621戸、補助頭数：2,846頭】

公1(2) 畜産経営の向上を支援する事業

■経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、企業の経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。【支援戸数：288戸】

■農場HACCP認証普及推進支援対策事業

(受託：中央畜産会)

農場のリスクマネジメントに有用な方式であるHACCPの実施体制等について認証する「農場HACCP認証」の普及を図るため、農場における衛生管理の取組の現状、取組上の問題点等について調査し、農場HACCP構築支援を実施しました。

【調査戸数：2戸】

公1(4) 家畜の能力向上を促進する事業

■肉用牛経営安定対策補完事業

(補助：農畜産業振興機構)

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付しました。【交付対象戸数：26戸、交付対象頭数：80頭】

■獣医師養成確保修学資金貸与事業

(補助：農林水産省)

獣医学を専攻する学生のうちで産業動物獣医師を志す者に対し、共同負担者（群馬県）とともに修学資金を貸与しました。【貸与人数：13人】

■酪農ヘルパー事業円滑化支援事業（自主）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るために必要な体制の整備及び酪農ヘルパー要員の確保、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費

(2) 収益事業等

収1(1) 家畜の登録団体からの業務委託に関する事業

家畜登録事業（自主）

家畜の血統管理と能力向上のために畜種ごとの登録団体が全国的な規模により実施している家畜の個体登録に必要な情報の収集と手続きを行いました。【登録頭数：乳牛 3,358 頭、和牛 678 頭、種豚 90 頭、山羊 71 頭、登記頭数：和牛 5,598 頭、種豚 195 頭】

畜産の振興を図る事業

牧草地除染対策事業（自主）

放射性物質汚染により使用ができなくなっている永年生牧草地の利用者に除染作業を委託し、その費用を東京電力からの賠償金により賄う事業を実施しました。【委託戸数:5 戸、対象面積:18.05ha】

畜産振興部より



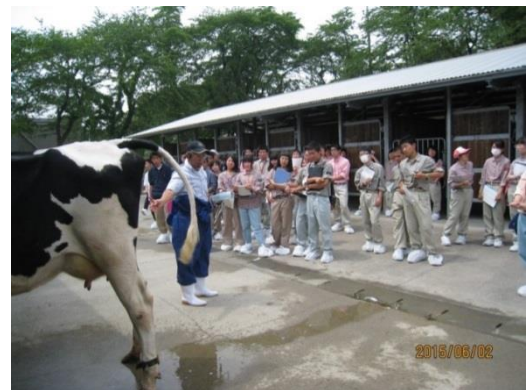
■学校農業クラブ連盟による家畜審査技術講習会・競技大会が開催されました。

平成27年6月2日（火）、群馬県畜産試験場にて学校農業クラブ連盟による家畜審査技術講習会が開催されました。本講習会は県内の農業高校が集まり、和牛・乳牛・豚の三部門において、それぞれの生体の審査（評価の仕方）について学び、実際に審査するという趣旨のもと、毎年開催されています。今年はPEDの発生を受けて、和牛と乳牛の二部門のみでの開催となり、和牛の部は79名、乳牛の部は102名の参加となりました。審査の部では、正しい審査ができている学生も多く、講義の内容が身につけていると思われました。

平成27年6月16日（火）には、日頃の勉強の成果と技術講習会での知識を競う競技大会が

開催されました。各畜種において成畜4頭、幼畜4頭を用いて審査を行い、その後講師による模範審査を行いました。

今年度は全国大会が開催されないため、県外で実力を発揮する機会がありませんが、技術講習会・競技大会ともに熱心に取り組んでいる学生が多かったように思われました。



技術講習会（乳牛の部）

■第40回中部日本ブラックアンドホワイトショウが開催されました。



第40回中部日本ブラックアンドホワイトショウ

平成27年4月16日（木）～18日（土）、静岡県御殿場市馬術スポーツセンターにおいて、中部日本ホルスタイン改良協議会の主催による、第40回中部日本ブラックアンドホワイトショウが開催されました。

群馬県からは15頭が出品され、全頭が各部の一等賞以上と入賞を果たしました。その中でも、第6部・砥上雅道（拓弥）氏の出品牛がインターミディエイトのリザーブチャンピオン、第10部・千本木裕氏の出品牛がシニアチャンピオンおよび経産リザーブグランドチャンピオンという大変優秀な成績を収めました。

次年度からは共進会名が改名されセントラルジャパンホルスタインショウ（仮）とされる見込みで、出品者とともに群馬県の代表として、今年度以上の成績を残せるよう努力していきたいと思ひます。

■和牛期待育種価情報提供サービスが稼働中です。

平成25年7月より、パソコン・スマホで種付前に子牛の期待育種価を調べることができるシステムが稼働中です。

種付をした後繁殖雌牛と種雄牛を選ぶだけで、将来生産される子牛の期待育種価が予測できるというもので、繁殖雌牛自体の育種価や分娩間隔も把握することができます。

詳しくは TEL:027-220-2360

FAX:027-220-2372

（公社）群馬県畜産協会 畜産振興部 星野まで
お願いいたします。

業務部より

■肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）

【事業の実績(平成27年6月現在)】

対象期間	品種区分	通常		生産者積立金免除牛		交付金額 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
		頭数(頭)	交付単価(円)	頭数(頭)	交付単価(円)			
平成26年10月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	概算払 12/22 精算払 2/25
	交雑種	891	33,400	471	25,000	41,534,400	120	
	乳用種	484	64,200	26	48,100	32,323,400	12	
	計	1,375		497		73,857,800	132	
平成26年11月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	概算払 1/27 精算払 2/25
	交雑種	1,121	22,200	236	16,600	28,803,800	129	
	乳用種	408	48,500	7	36,300	20,042,100	11	
	計	1,529		243		48,845,900	140	
平成26年12月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	確定払 2/25
	交雑種	1,227	29,600	173	22,200	40,159,800	125	
	乳用種	321	54,800	7	41,100	17,878,500	13	
	計	1,548		180		58,038,300	138	
平成27年1月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	概算払 3/25 精算払 5/27
	交雑種	959	25,700	82	19,200	26,220,700	102	
	乳用種	251	61,900	7	46,400	15,861,700	11	
	計	1,210		89		42,082,400	113	
平成27年2月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	概算払 4/27 精算払 5/27
	交雑種	1,137	3,200	46	2,400	3,748,800	113	
	乳用種	170	63,600	2	47,700	10,907,400	11	
	計	1,307		48		14,656,200	124	
平成27年3月期 確定	肉専用種	-	-	-	-	-	-	確定払 5/27
	交雑種	-	-	-	-	-	-	
	乳用種	190	57,100	1	42,800	10,891,800	11	
	計			1		10,891,800	11	
合計	肉専用種	1,557		952		23,837,400	268	
	交雑種	10,615		3,161		525,673,500	1,294	
	乳用種	3,096		671		204,241,400	153	
	計	15,268		4,784		753,752,300	1,715	



■肉用子牛生産者補給金制度

【事業の実績(平成27年6月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	交付戸数 (戸)	交付日
平成26年4～6月期	-	-	-	-	-	交付なし
平成26年7～9月期	-	-	-	-	-	交付なし
平成26年10～12月期	-	-	-	-	-	交付なし
平成27年1～3月期	-	-	-	-	-	交付なし

■肉用牛繁殖経営支援事業

【事業の実績(平成27年6月現在)】

対象期間	品種区分	交付単価 (円)	頭数 (頭)	交付金額 (千円)	交付戸数 (戸)	交付日
平成26年4～6月期	-	-	-	-	-	交付なし
平成26年7～9月期	その他肉専	29,400	0	0	0	交付なし
平成26年10～12月期	-	-	-	-	-	交付なし
平成27年1～3月期	-	-	-	-	-	交付なし

■養豚経営安定対策事業

【事業の実績(平成27年6月現在)確定】

対象期間	平均粗収益 (円)	平均生産コスト (円)	差額 (円)	補填金単価 (円)	交付戸数 (戸)	交付日
平成26年4月～27年3月期	40,824	35,532	5,292	-	-	交付なし

企画管理部より



■平成27年度家畜衛生事業担当者会議を開催しました。

平成27年6月29日(月)に家畜衛生事業担当者会議を開催しました。会議では、次の各事業について事業説明、質疑がおこなわれました。

(1) 予防注射事業 (2) オーエスキー病清浄化推進
(3) 飼養衛生管理強化対策事業(4) 牛白血病の感染拡大防止対策事業(5) 死亡牛緊急検査処理円

滑化推進事業(6) 地域自衛防疫特別対策事業

今年度も、本会の衛生事業についてご理解ご協力をお願いします。

■平成27年度新入職員紹介

畜産振興部 星野 拓郎
企画管理部 栗村 美帆



みんなで行こう！ケイバ！南関東4競馬場開催日程

群馬で、これまでの高崎場外馬券場から新たに地方競馬の場外馬券場が増えました！！

北関東自動車道をご利用の場合
栃木県方面よりお越しの方



関越自動車道をご利用の場合
埼玉県方面よりお越しの方



所在地 〒372-0801 群馬県伊勢崎市宮子町3074

◆BAOO高崎
群馬県高崎市岩押町 12-16
お問合せ：027-322-5192

地方競馬の
収益金は
畜産の振興に
役立っています



- ・高崎駅東口から徒歩10分
- ・関越道高崎玉村スマートICから車で5分
- ・関越道高崎インターから車で10分
- ・上信越道藤岡インターから車で15分

場内無料駐車場完備

払戻しは場外発売日のみです。

地方競馬〔場外馬券発売所〕
BAOO高崎 [パオー]
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町12-16
TEL:027-322-5192

◆オフト伊勢崎
群馬県伊勢崎市宮子町 3074
伊勢崎オートレース場
グリーンスタンド4階・5階
お問合せ：0270-23-0535

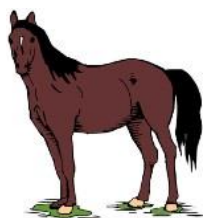
🌙 ナイター 🌅 薄暮開催

2015年 7月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
川崎	川崎	川崎			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	浦和	浦和	浦和	船橋			船橋	船橋	川崎	川崎	川崎	川崎		大井	大井	大井	大井		
Up 1							Up 1												船橋												

2015年 8月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
		船橋	船橋	船橋	浦和	浦和			浦和	大井	大井	大井	大井	大井		川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			大井	大井	大井	大井	大井			浦和	
											船橋							船橋							船橋						

2015年 9月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水		
浦和	浦和	川崎	川崎			川崎	川崎	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井				浦和	浦和	浦和	浦和			大井	大井	大井		
							船橋								船橋							船橋		船橋					Up 1		

★詳しくは南関東4競馬場サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください。★



編集後記

今回も「群馬の畜産・みんなの情報室」をお読みいただきありがとうございます。

アジサイの花に心とむ季節がやってきましたが、強風や火山活動の活発化など、自然の脅威の前に心が痛む日々も続いています。

平成27年度も畜産協会の事業等を皆様を知っていただけるよう、編集に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。(K)